



中央制御室
最新の自動制御技術を導入したワンルーム・コントロール方式です。燃焼管理はもちろん、各設備の監視運転操作を行います。

ゴミの流れ

搬入された可燃ごみは、計量後直接ごみピットに投入されます。ごみピットに貯留された可燃ごみは、ごみクレーンで搅拌後ホッパに投入されます。ホッパに投入されたごみは、給じん装置により定量的に焼却炉のストーカ上に供給され、反転・搅拌を繰り返しながら乾燥・燃焼し完全に焼却されます。

灰の流れ

完全燃焼後の灰は、炉下コンベヤ・灰コンベヤを経て灰ピットに送られます。灰ピットに貯留された灰は、ダスト固化物とともに灰クレーンで灰搬出車に積み込まれ、最終処分場へ搬出されます。

空気の流れ

燃焼用空気は、ごみピットより押込送風機によって吸引され、燃焼用空気予熱器で予熱された後、炉下から炉内へ供給され、ごみの乾燥・燃焼に使用されます。二次燃焼用空気は、専用の送風機とノズルによって高速で炉出口に吹き込まれ、燃焼ガスと二次燃焼空気を効率良く搅拌し完全燃焼を行います。

排ガスの流れ

ごみの燃焼により発生した排ガスは、ガス冷却室、燃焼用空気予熱器および減温用熱交換器を経た後、消石灰と活性炭噴霧により有害成分が吸着・除去されます。バグフィルタでは、排ガス中のダストを除去すると同時に、有害ガス処理によって生じた副生成物(重金属及びダイオキシン類等)が捕集・除去されます。処理された排ガスは、誘引送風機により吸引され、煙突から大気中に放散されます。

飛灰の流れ

排ガスに含まれるダスト(飛灰)はバグフィルタで捕集され、重金属及びダイオキシン類等の溶出を防ぐため混練機でセメント・キレート溶液と混練されます。